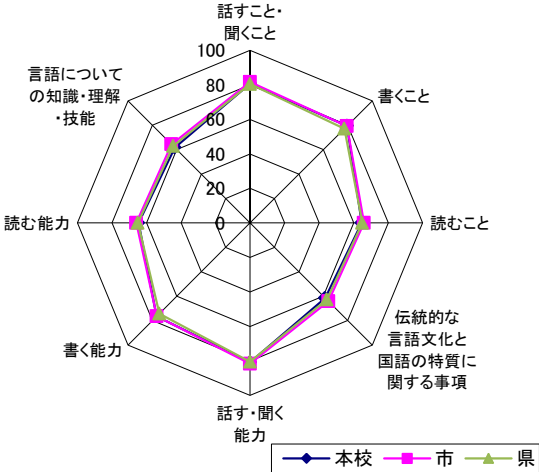


宇都宮市立陽南中学校第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	80.8	81.6	80.5
	書くこと	79.5	79.4	77.2
	読むこと	64.6	65.9	65.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.5	64.2	62.8
観点	話す・聞く能力	80.8	81.6	80.5
	書く能力	76.5	76.4	74.3
	読む能力	64.6	65.9	65.0
	言語についての知識・理解・技能	61.8	64.4	63.0



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの内容の聞き取りでは本校の正答率は、県の平均とほぼ同じである。話の要旨を聞き取る力は平均レベルである。	録音教材による聞き取りテストを今後も継続させ、話の要旨を的確に聞き取り、その内容を説明する練習を続けていきたい。
書くこと	○書くことについての正答率は、県の平均を2.3ポイント上回っている。登場人物の心情を捉えて根拠を明確にして書くに関する正答率は、県の平均とほぼ同じである。	文学的な文章、説明的な文章とも文章の展開に即して読んでいくが必要になる。それを踏まえたうえで、自分の考えをより確かなものにして表現できるように、意見文などの単元を通して根拠を提示して文章を書ける練習をさせていきたい。
読むこと	○文学作品の内容の理解では本校の正答率は、県の平均を0.7ポイント上回っている。 ●説明文の内容の理解では本校の正答率は、県の平均とほぼ同じであるが、文脈に即して内容や要旨を捉えることを苦手とする生徒が多い。	説明的な文章の読解の授業では、内容を把握しやすい作業用紙を用意し、指示語や接続語の働きに注意して、文章の構成や筆者の考えを読み取れるよう指導していきたい。 授業や朝の読書、学校図書館での指導などを通して、さまざまな文学作品に触れさせ、登場人物の行動や会話などから、場面ごとの心情の変化を的確に読み取る力をつけさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読みについては、県の平均とほぼ同じである。また、漢字の書きについては、県の平均を5.0ポイント上回っている。 ●文法・語句に関する知識では本校の正答率は、県の平均を2.2ポイント下回っている。特に文節の区切り方に対する理解が不十分である。	単元末に行っている漢字テストを今後も継続し、言語に関する知識をさらに高めていきたい。 1年生の文法事項の理解が曖昧なために、2年生での文法の学習につながらない生徒が多い。2年生で文法を学習する際に、基礎的な事項も復習するよう授業を計画していきたい。